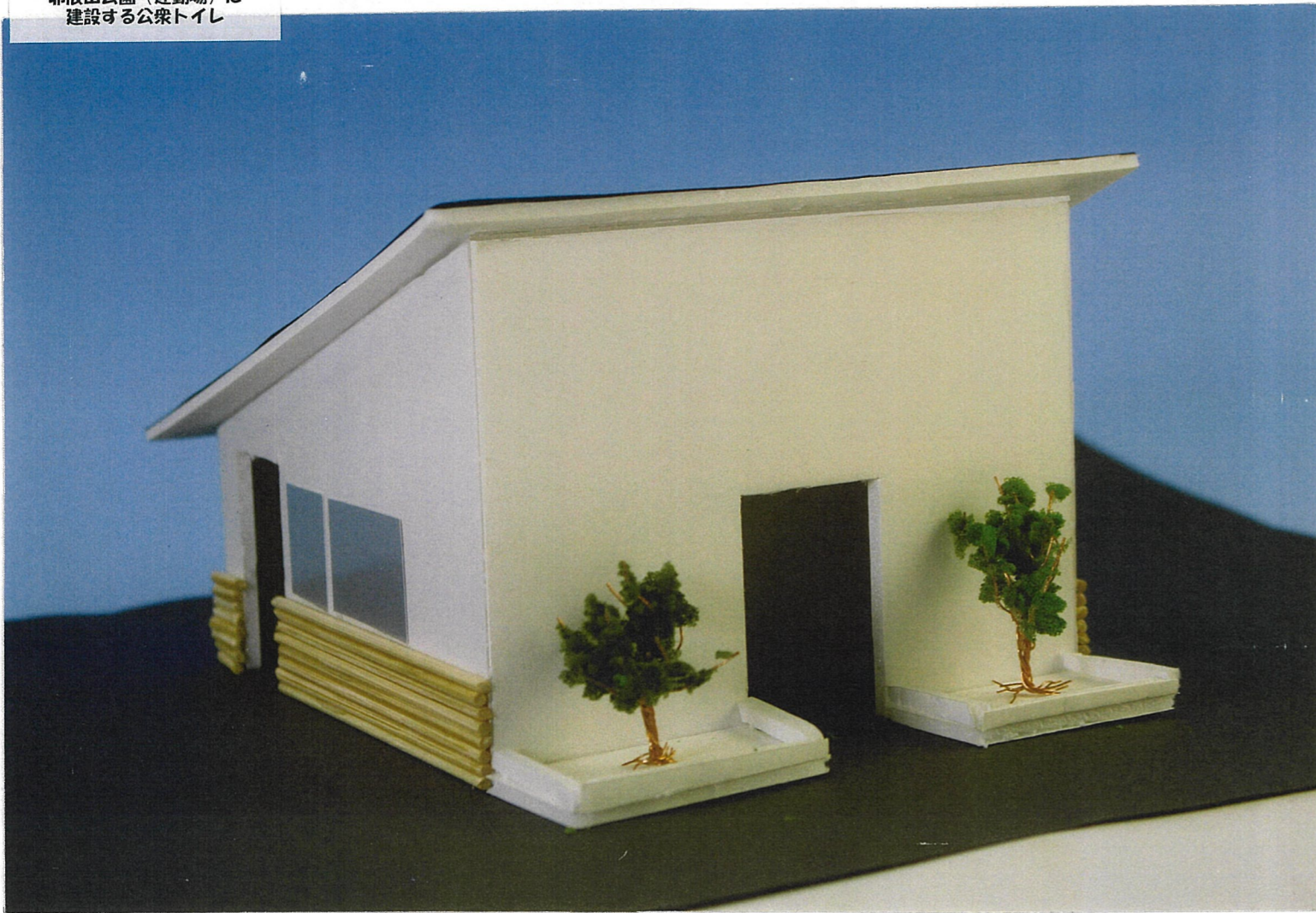


第9回建築デザインアワード
卯辰山公園（運動場）に
建設する公衆トイレ



コンセプト

現地のトイレを夜に見に行ったら、明かりが少なく、とても暗く感じ、夜に入りづらいなと感じました。そこで私は夜でも入りやすいトイレにしようと考えました。トイレの入り口には木を植え、夜にはその木をライトアップさせる事や窓を多くし、中の明かりが外に漏れるようにすることで、夜でも明るいトイレにしました。また、出入口を2つ設けることで、もし不審者が入ってきてもう一つの出口から逃げることができるので、夜でも安心して使うことができます。

面積種類	計算式(単位m)	計
敷地面積	15×19	285 M ²
建築面積	6.825×6.465	44.12 M ²
延床面積	6.825×6.465	44.12 M ²
建ぺい率	(6.825×6.465)÷(15×19)×100	15.48%
容積率	(6.825×6.465)÷(15×19)×100	15.48%

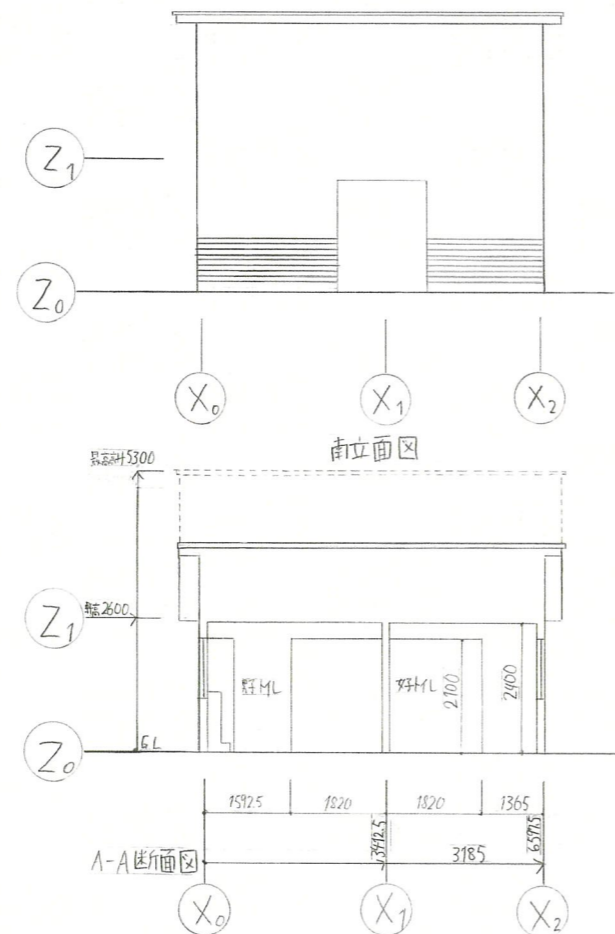
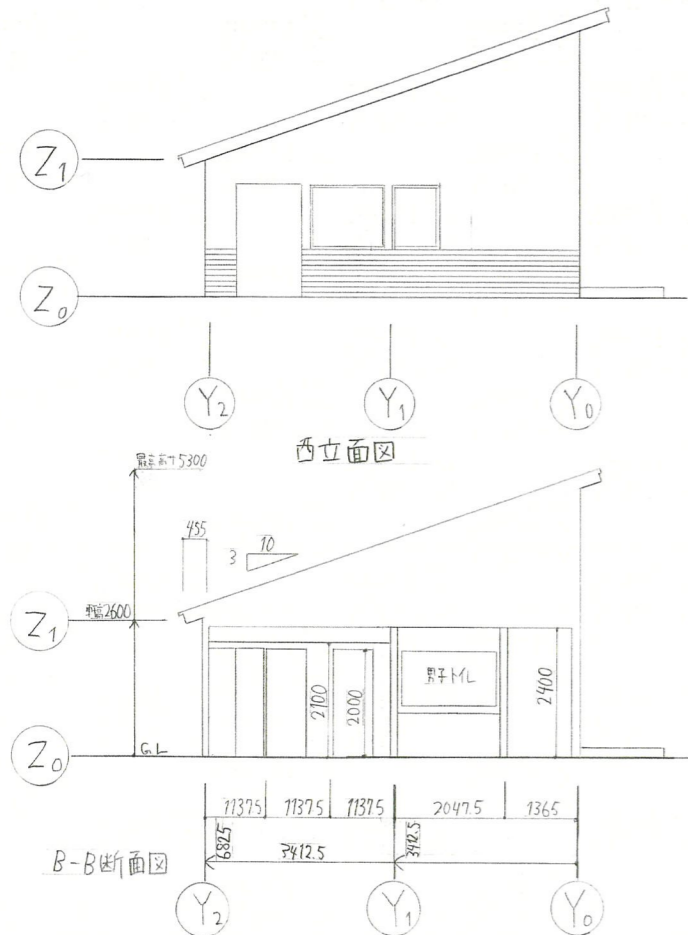


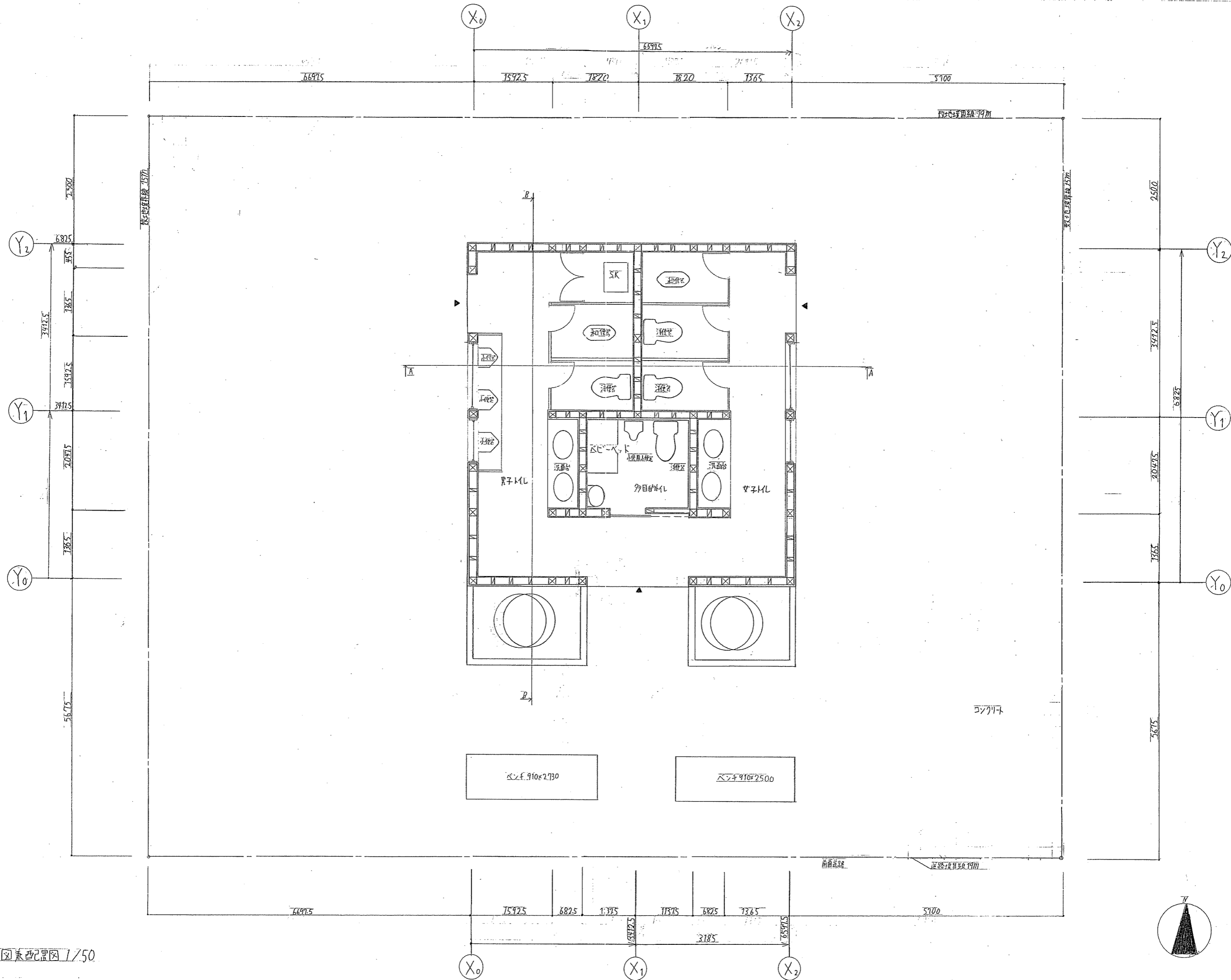
男子トイレ女子トイレともに出入口を2つ設けたことで、もし不審者が入ってきて安全に逃げることができます。

通気性に配慮した設計になっており、トイレの個室の間仕切り壁と天井の間も大きくとってあります。また窓も多く設けてあることや出入口が2つあることで、トイレの3Kの内の1つ、「臭い」を解決させることができます。窓は突き出し窓にする事で安全に開ける事ができます。

内壁は白磁器にした事で使う人へ明るさや清潔感を与え、使いやすく、快適な空間を醸し出しました。公衆トイレは狭い事が多く、使いにくいことが多いので、個室トイレは幅を約1mと広たことで、小児にも使用することができます。

多目的トイレは洗面台の高さを下げたことにより、小さな子でも使いやすくなっています。また多目的トイレに子供用の小便器を設けることで、親子一緒に使うことができます。





平面図兼西記畧図 1/50